

中長期計画に対する自己評価（1ページ以内）	
全体評価	S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取り組みがあり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C：当初の計画について半数以上の取り組みについて未達であり、取り組みや目標に関して一定の見直しが必要である。 D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
B	
評価理由	<p>平成29年10月20日に世田谷プラットフォーム（以下、世田谷PF）を発足して以降、中長期計画に基づき各取り組みが進められている。運営体制については、協議会や協議部会、各取り組みに対応する各部会、各ビジョンプロジェクト、共同事務局等が設置され、各組織の役割や評価体制なども整備されてきている。産業界の参画や、前年度に引き続き、令和2年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）に採択されるなど、大きな成果を得ている一方で、中長期計画で達成できていない取り組みや十分に機能していない部会があるなどの課題も残っている。</p> <p>令和2年度は、「世田谷プラットフォーム規約」の制定、「世田谷プラットフォーム分担金細則」の制定など、世田谷PFの運営基盤を整備することができている。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、計画していた活動の多くを実施することができず、当初の計画の半数以上の取り組みが未達となり、目標を達成することができなかった。このような状況の中においても、オンラインを活用した取り組みは進められており、「eラーニング（せたがやeカレッジ含む）による公開講座提供件数」や「共同FD・SD開催件数」などは、数値目標を大幅に超えて達成することができている。</p> <p>また、令和3年度実施に向けて、社会人向けの「ビジネスキャリアデザイン講座」や「世田谷区・川場村縁組協定締結40周年記念児童交流事業」の企画が進められており、今後の世田谷PFのさらなる活動の展開も期待される。</p> <p>全体としては、新型コロナウイルスの影響により、多くの計画を実施することができなかったが、このような状況にありながらも大学間連携など様々な取り組みを進めているため、評価はBとした。</p>
評価に関する備考（考慮すべき事項）	<p>■新型コロナウイルスの影響 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、各大学は休校やオンライン授業の展開など、様々な対応を求められた。また、各イベントについてもその多くを中止せざるを得ない状況にあり、当初計画していた事業を実施することができなかった。しかしながら、そのような中においても、オンラインを活用した「eラーニング（せたがやeカレッジ含む）による公開講座提供件数」や「共同FD・SD開催研修」などは目標を超える取り組みがなされ、世田谷プラットフォームを活性化される取り組みが進められている。</p> <p>■事務局体制の強化 令和2年度より、東京都市大学、駒澤大学、東急株式会社、世田谷区で構成されていた共同事務局に、会計担当として成城大学が加わった。また、「世田谷プラットフォーム規約」や「世田谷プラットフォーム分担金細則」が制定され、世田谷プラットフォーム運営基盤の整備が行われた。これらにより、共同事務局体制が定められ、事務局体制が強化されている。</p> <p>■区内産業界との連携 平成31年4月以降の区内産業界との連携状況として、令和元年9月に東急スポーツシステム株式会社、令和元年11月に東京商工会議所とそれぞれ包括連携の体制を構築した。これにより世田谷PFの参画企業は、東急株式会社（令和元年9月に商号変更）と合わせ4社となっている。</p> <p>■地方自治体との連携 世田谷PFは、世田谷区だけでなく、同区と交流のある地方の自治体（北海道中川町、北海道洞爺湖町、山形県舟形町、群馬県川場村、神奈川県川崎市、長野県、長野県豊丘村、新潟県十日町市等）との連携を掲げている。例年開催されている世田谷区主催の「自治体間連携フォーラム」は、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、令和3年度に向けて「世田谷区・川場村縁組協定締結40周年記念児童交流事業」の企画が進められており、連携強化が進んでいる。</p>

達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
			上段数値：各大学が独自で実施している取組件数 下段数値：上記の内、世田谷PFとしての取組件数		以下、2020年度の実績及び評価

ビジョンプロジェクト1（文化・芸術・教育） 担当：【国土館】、【東京都市】

1-1. 今後も人口増加・住民の多様化が予想される世田谷区において、幅広い年齢層や地域のニーズに合わせた教育の提供が求められているが、その機会が不足している	■ 大学の幅広い知財を地域住民に提供する機会を増やし、様々なニーズに合わせた教育を実施する	■ 高等教育の提供	■ 公開講座等提供件数（eラーニング含む）【件】					41件 (8)	B 特徴のある6つの大学で世田谷PFが形成されており、広範囲の学術分野をカバーした取り組みが可能である。2020年度は、コロナウィルスの影響により、当初計画を実施することができなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			310件 (11)	315件 (12)	320件 (13)	330件 (14)	340件 (15)		
			■ eラーニング（せたがやeカレッジ含む）による公開講座提供件数					33件	S 「せたがやeカレッジ」というe-Learningシステムを保有しており、講座提供を行っている。また、数値目標を大きく超えて達成できている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			7件	8件	9件	10件	11件		
1-2. 大学がもつ高度で専門的な教育資源を活用し、小中学校等における教育活動の充実をはかる必要があるが、その連携が不十分である	■ 大学がもつ高度で専門的な教育資源の活用による、小中学校等における教育活動の充実	■ 区内小中学校等への教育活動支援	■ 教育支援活動を実施した小中学校数					9校	B 2020年度は、コロナウィルスの影響により、計画どおり小中学校等の教育支援活動を行うことができなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			60校	62校	64校	66校	68校		
			■ 学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援派遣者数（世田谷区「区立幼稚園、小・中学校等への教育活動支援事業」と連携）					32名	B 「世田谷区大学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援」については、世田谷区教育委員会事務局に受け入れ体制が備わっている。2020年度は、コロナウィルスの影響により、計画どおり派遣できなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			75名	75名	75名	75名	75名		
1-3. 乳幼児期から文化・芸術にふれることは、想像力と創造性を育み、多様な価値観を受け入れることが期待される一方で、それ	■ 文化・芸術・教育に関わる機会の提供及び乳幼児の情操教育への寄与	■ 乳幼児及び保護者への支援の推進	■ 乳幼児及び保護者への支援活動並びにその啓発活動の実施件数					6件 (2)	B 2020年度は、コロナウィルスの影響により、計画通り進めることができなかったため、

2020（令和2）年度 世田谷プラットフォーム評価報告書

らは限られた環境の子どもにしか提供されていない			2018	2019	2020	2021	2022		評価はBとする。
			10件 (10)	10件 (2)	10件 (3)	10件 (4)	10件 (6)		
1-4. 文化・芸術活動等は、障がい者が生きがいや社会参加に寄与するために必要であるが、その支援活動が不足している	■ 障がい者支援活動機会の充実	■ 障がい者支援の推進	■ 障がい者支援活動及びその啓発活動の実施件数					5件 (0)	B 2020年度は、コロナウィルスの影響により、計画どおり進めることができなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			13件 (2)	13件 (2)	13件 (3)	13件 (4)	13件 (6)		

ビジョンプロジェクト2（地域活性） 担当：【国士館】、【駒澤】

2-1. 近隣同士の付き合いや地域での繋がりが希薄になっているため、地域振興や交流イベントの機会が求められている	■ 地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街世田谷」の実現	■ 地域振興・交流イベントの推進	■ イベントの開催・協力件数					14件 (2)	B 2020年度は、コロナウィルスの影響により、イベント開催ができなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			85件 (10)	90件 (12)	95件 (14)	100件 (16)	105件 (18)		
2-2. 防災教育や指導等が区内に滞在する人々に対して十分な準備が整えられていない	■ 同上	■ 防災教育の推進	■ 防災教育の参加者数					13,414名	B 各大学において、防災教育の取り組みを推進している。2020年度はコロナウィルスの影響により、計画どおり実施できなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			14000名	17500名	17500名	17500名	17500名		

ビジョンプロジェクト3（産業） 担当：【成城】、【東京都市】

3-1. 世田谷区内の産業界に従事する若年層が多くないため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない	■ 産学官の連携体制を構築し、区内における就労及び新たな商品開発や起業の促進をはかることにより、区内産業を活性化	■ 企業との連携推進	■ 区内産業界へのインターンシップ参加者数					25名	B 部会を中心に着実に進められているが、2020年度はコロナウィルスの影響により、実施できなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
						150名	160名	170名	180名
3-2. 区内産業を活性化するための教育プログラム（リカレント教育）が提供されていない	■ 同上	■ 企業との連携推進	■ 区内への就業者数					177名	A 部会を中心に着実に進められており、数値目標を達成することができている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
						140名	150名	160名	170名
			■ 社会人向け教育プログラム数					11件	B 各大学、独自で進めている件数は多いが、2020年度はコロナウィルスの影響により、件数が減少している。また、世田谷PF独自の社会人
			2018	2019	2020	2021	2022		
			検討	試行	実施				

2020（令和2）年度 世田谷プラットフォーム評価報告書

									向け教育プログラムの検討が進められ、企画がまとまり、2021年度より実施される予定である。
3-3. 区内産業界を活性化するための、区内産業界等との連携体制が十分でない	■ 同上	■ 企業との連携推進	■ 産業イベント開催・協力件数					6件	B 部会を中心に着実に進められているが、2020年度はコロナウィルスの影響により、実施できなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			—	7件	10件	12件	14件		
3-4. 世田谷区は、兼業・副業や職住近接の働き方改革モデル地域として、また、多様な地域的課題を解決するコミュニティ・ビジネスの共生モデル地域として期待されているが、地域住民や地元学生などに起業に関心のない「創業無関心者」が依然として多いため、地域ぐるみで創業機運を醸成する必要がある	■ 同上	■ 地域の「創業無関心者」層に、起業に関心を持ってもらうための啓発普及活動を展開	■ 創業機運醸成のためのイベント等開催数					3件	A 2019年度より新規取り組みとして追加している。2020年度はコロナウィルスの影響もあったが、オンラインで開催する等し、数値目標を達成し、着実に進められている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			—	3件	3件	3件	3件		

ビジョンプロジェクト4（国際化） 担当：【成城】、【東京都市】

4-1. 東京オリンピック・パラリンピックに向けてアメリカのホストタウンとして区内での国際化対応を推進する必要がある	■ 東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応による世田谷の魅力度の向上	■ 国際感覚の醸成	■ 国際化推進イベント参画・協力件数					1 (0)	B 部会を中心に着実に進められているが、2020年度はコロナウィルスの影響により、イベント開催ができなかったため、評価はBとする。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			28件 (0)	44件 (4)	45件 (4)	46件 (4)	47件 (4)		

ビジョンプロジェクト5（大学等の連携） 担当：【駒澤】、【東京都市】

5-1. 個別の大学の取組のみでなく、各大学のFD・SD活動を共有あるいは共同開催することで、効率的な教育改革あるいは大学改革を推進する必要がある	■ 教育力の向上並びにスタッフ能力の開発により、世田谷区内大学の価値を高める	■ PF形成校（大学・高専）の連携強化	■ 共同FD・SD開催件数					6件	S 数値目標は大きく達成され、部会を中心に着実に進められている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			2件	2件	2件	2件	6件		
5-2. 自大学に無い科目の提供や環境の異なる大学で学ぶことにより、学生の学修意欲を高める必要がある	■ 世田谷PF内で単位互換を活用しやすい仕組みを構築するとともに単位互換科目数の増加する		■ 共同の単位互換科目数					291科目	S 2020年度は、新たに大学院科目が追加され、数値目標を大きく超えることができています。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			検討	248科目	248科目	248科目	248科目		

2020（令和2）年度 世田谷プラットフォーム評価報告書

<p>5-3. 各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進することにより、世田谷PFの活性化並びに大学間の教育研究等の連携強化を図る必要がある</p>	<p>■ 各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進する</p>		<p>■ 共同利用が可能な施設・設備登録数</p>					<p>719 件</p>	<p>S 2020年度は新たに東京農業大学の施設・設備が83件登録されたことにより、目標を大きく超えることができています。</p>
			<p>2018</p>	<p>2019</p>	<p>2020</p>	<p>2021</p>	<p>2022</p>		
			<p>8 件</p>	<p>608 件</p>	<p>608 件</p>	<p>608 件</p>	<p>608 件</p>		
<p>5-4. 世田谷区内にある13大学の内、現在参画しているのは6大学であり、区内外の参加校数を増やし、より世田谷PFを充実させる必要がある</p>	<p>■ 区内外への参加を呼びかけ、参加校を増やし、世田谷PFの効果を高める</p>		<p>■ 参加校（大学・高専）数</p>					<p>6 校</p>	<p>C 構成大学が6大学にとどまっておらず、数値目標を達成できていない。2020年度は、新たに世田谷プラットフォーム規約を制定し、加入に関する手続きを定めることができたため、今後は、参加校を増やす取り組みが望まれる。</p>
			<p>2018</p>	<p>2019</p>	<p>2020</p>	<p>2021</p>	<p>2022</p>		
			<p>8 校</p>	<p>9 校</p>	<p>10 校</p>	<p>11 校</p>	<p>13 校</p>		
<p>5-5. 世田谷PF形成大学等において、共同のニーズ調査や高校訪問、説明会、広報（Webサイトやパンフレット等）活動を行い、世田谷区で学ぶことの魅力を高めていく必要がある</p>	<p>■ 世田谷PF形成大学の知名度を高め、世田谷で学ぶ魅力を伝えるために、共同学生募集活動を推進する</p>		<p>■ 共同学生募集活動件数</p>					<p>7 件</p>	<p>B 部会を中心に着実に進められているが、2020年度は、コロナウィルスの影響により、数値目標に達することができなかった。</p>
			<p>2018</p>	<p>2019</p>	<p>2020</p>	<p>2021</p>	<p>2022</p>		
			<p>8 件</p>	<p>8 件</p>	<p>8 件</p>	<p>8 件</p>	<p>8 件</p>		
<p>5-6. 世田谷PF形成大学等において、地域課題の解決等に向けた共同のボランティア体制が整備されていない</p>	<p>■ ボランティア体制の充実</p>		<p>■ 学生ボランティア派遣件数（世田谷区「ボランティア事業」との連携）</p>					<p>0 件</p>	<p>当初の「ボランティア事業」の計画が進んでいないため、計画変更が必要である。また、別の形で学生ボランティア派遣が行われているため、データ収集の形も変更が望まれる。</p>
			<p>2018</p>	<p>2019</p>	<p>2020</p>	<p>2021</p>	<p>2022</p>		
			<p>検討</p>	<p>試行</p>	<p>実施</p>				

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

0. 基本データ（各年度5月1日現在の数値）

0-1 保証人も世田谷区在住の学生（保証人住所が世田谷区）

大学名	性別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	男性	244	244	308	312	336
	女性	86	88	120	114	130
	計	330	332	428	426	466
駒澤大学	男性	248	255	276	229	215
	女性	169	165	171	134	136
	計	417	420	447	363	351
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	172	158	164	201	193
	計	172	158	164	201	193
成城大学	男性	137	144	136	124	132
	女性	186	189	191	173	174
	計	323	333	327	297	306
東京都市大学	男性	0	159	170	181	175
	女性	0	70	75	83	99
	計	0	229	245	264	274
東京農業大学	男性	141	146	144	140	155
	女性	132	122	133	162	154
	計	273	268	277	302	309
計	男性	770	948	1,034	986	1,013
	女性	745	792	854	867	886
	計	1,515	1,740	1,888	1,853	1,899

※正確な数値は2017年度より取得。2016年度以前は参考値として活用ください。

0-2 保証人が世田谷区外で世田谷区在住の学生（≒人口の流入者数）

大学名	性別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	男性	869	878	746	685	563
	女性	338	353	212	194	188
	計	1,207	1,231	958	879	751
駒澤大学	男性	1,985	2,055	1,979	1,808	1,605
	女性	735	797	818	789	694
	計	2,720	2,852	2,797	2,597	2,299
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	1
	女性	564	615	562	689	443
	計	564	615	562	689	444
成城大学	男性	235	218	204	144	149
	女性	243	226	206	154	134
	計	478	444	410	298	283
東京都市大学	男性	0	450	432	435	340
	女性	0	81	84	89	76
	計	0	531	516	524	416
東京農業大学	男性	1,700	1,603	1,454	1,425	1,216
	女性	866	844	804	791	716
	計	2,566	2,447	2,258	2,216	1,932
計	男性	4,789	5,204	4,815	4,497	3,874
	女性	2,746	2,916	2,686	2,706	2,251
	計	7,535	8,120	7,501	7,203	6,125

※正確な数値は2017年度より取得。2016年度以前は参考値として活用ください。

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

1. 文化・芸術・教育関係 指標

1-1-1 公開講座実施数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	145	93	102	92	0
	世田谷PF	0	0	0	0	0
駒澤大学	自大学	16	15	24	37	9
	世田谷PF	0	0	0	7	2
昭和女子大学	自大学	17	16	21	22	11
	世田谷PF	0	0	1	0	0
成城大学	自大学	44	48	53	53	7
	世田谷PF	0	1	0	2	3
東京都市大学	自大学	31	17	3	49	14
	世田谷PF	0	0	0	3	3
東京農業大学	自大学	121	117	97	98	0
	世田谷PF	0	0	0	0	0
計	各大学	374	306	300	351	41
	世田谷PF	0	1	1	12	8

1-1-2 eラーニング(せたがやeカレッジ含む)による講座提供件数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	0	0	0	1	1
駒澤大学	自大学	2	2	3	2	2
昭和女子大学	自大学	1	1	3	5	6
成城大学	自大学	0	0	1	3	10
東京都市大学	自大学	1	0	3	4	14
東京農業大学	自大学	0	0	0	9	0
計	各大学	4	3	10	24	33

1-2-1 世田谷区内小・中学校等への教育活動支援学校数(出前講座含む)

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	4	10	10	4	3
駒澤大学	自大学	6	14	10	7	0
昭和女子大学	自大学	12	29	15	11	6
成城大学	自大学	3	2	3	2	0
東京都市大学	自大学	1	9	8	1	0
東京農業大学	自大学	2	4	3	0	0
計	各大学	28	68	49	25	9

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

1-2-2 学生ボランティアによる区立小・中学校等への教育活動支援派遣者数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	0	0	9	5	12
駒澤大学	自大学	5	12	11	5	3
昭和女子大学	自大学	28	54	32	44	16
成城大学	自大学	2	4	2	2	1
東京都市大学	自大学	0	5	2	15	0
東京農業大学	自大学	23	15	14	10	0
計	各大学	58	90	70	81	32

1-3 乳幼児及び保護者向けの支援活動及びその活動を啓発する為の講習会等の実施件数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
駒澤大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
昭和女子大学	自大学	3	4	3	3	2
	世田谷PF	—	0	0	0	0
成城大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
東京都市大学	自大学	0	5	3	10	4
	世田谷PF	—	1	1	4	2
東京農業大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
計	各大学	3	9	6	13	6
	世田谷PF	—	1	1	4	2

1-4 障がい者支援活動及びその活動を啓発する為の講習会等の実施件数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
駒澤大学	自大学	2	1	1	1	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
昭和女子大学	自大学	3	8	10	2	5
	世田谷PF	—	0	0	0	0
成城大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
東京都市大学	自大学	1	2	0	0	0
	世田谷PF	—	1	2	0	0
東京農業大学	自大学	1	1	1	1	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
計	各大学	7	12	12	4	5
	世田谷PF	—	1	2	0	0

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

2. 地域活性 指標

2-1 地域振興・交流イベントの開催・協力件数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
国士舘大学	主催(自大学)	0	2	2	1	1		
	共催(自大学)		0	1	1	0		
	協力等(自大学)		5	5	2	0		
	計(自大学)		7	8	4	1		
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	1		
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	計(世田谷PF)			0	0	1		
駒澤大学	主催(自大学)	31	32	28	5	0		
	共催(自大学)			0	2	0		
	協力等(自大学)			15	17	20	48	0
	計(自大学)			46	49	48	55	0
	主催(世田谷PF)	—	—	0	1	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	1	0		
	協力等(世田谷PF)	—	—	3	0	0		
	計(世田谷PF)	0	0	3	2	0		
昭和女子大学	主催(自大学)	13	12	2	1	0		
	共催(自大学)			1	5	0		
	協力等(自大学)			1	1	2	0	
	計(自大学)			15	14	8	0	
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	計(世田谷PF)	0	0	0	0	0		
成城大学	主催(自大学)	4	3	4	3	1		
	共催(自大学)			0	0	0		
	協力等(自大学)			0	0	0		
	計(自大学)			8	7	3	1	
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	1	0		
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	2	0		
	計(世田谷PF)	0	0	0	3	0		
東京都市大学	主催(自大学)	0	0	0	21	8		
	共催(自大学)			1	14	0		
	協力等(自大学)			4	8	4	33	4
	計(自大学)			4	8	5	68	12
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	1		
	計(世田谷PF)	0	0	0	0	1		
東京農業大学	主催(自大学)	0	2	2	0	0		
	共催(自大学)			0	0	0		
	協力等(自大学)			0	0	3	0	0
	計(自大学)			0	2	5	0	0
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0		
	計(世田谷PF)	0	0	0	0	0		
計(自大学)	主催(自大学)	36	41	38	31	10		
	共催(自大学)	17	15	16	22	0		
	協力等(自大学)	20	31	33	85	4		
	合計(自大学)	73	87	87	138	14		
計(世田谷PF)	主催(世田谷PF)	—	—	0	1	0		
	共催(世田谷PF)	—	—	0	2	1		
	協力等(世田谷PF)	—	—	3	2	1		
	合計(世田谷PF)	—	—	3	5	2		

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

2-2 防災教育の参加者数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	3,760	3,985	3,187	4,960	4,211
駒澤大学	自大学	11	11	26	25	1
昭和女子大学	自大学	4,716	5,118	5,120	5,104	7,024
成城大学	自大学	2,141	2,157	2,322	34	0
東京都市大学	自大学	4,635	4,657	4,740	0	0
東京農業大学	自大学	2,186	2,117	2,149	3,891	2,178
計	各大学	17,449	18,045	17,544	14,014	13,414

3. 産業 指標

3-1-1 区内産業界へのインターンシップ参加者数

大学名	性別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	男性	4	6	7	8	0
	女性	5	3	4	3	0
	計	9	9	11	11	0
駒澤大学	男性	24	29	15	19	2
	女性	19	16	13	12	5
	計	43	45	28	31	7
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	48	69	39	48	17
	計	48	69	39	48	17
成城大学	男性	0	1	1	2	0
	女性	2	2	1	0	0
	計	2	3	2	2	0
東京都市大学	男性	11	9	7	8	1
	女性	0	1	2	5	0
	計	11	10	9	13	1
東京農業大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	1	0	4	0	0
	計	1	0	4	0	0
計	男性	39	45	30	37	3
	女性	75	91	63	68	22
	計	114	136	93	105	25

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

3-1-2 世田谷区内の企業等への就業者数

大学名	性別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	男性	17	31	26	23	7
	女性	12	7	11	17	2
	計	29	38	37	40	9
駒澤大学	男性	24	17	25	20	24
	女性	11	29	23	23	23
	計	35	46	48	43	47
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	45	27	28	21	39
	計	45	27	28	21	39
成城大学	男性	3	8	8	5	6
	女性	6	5	5	6	10
	計	9	13	13	11	16
東京都市大学	男性	12	17	18	23	13
	女性	6	11	14	20	13
	計	18	28	32	43	26
東京農業大学	男性	14	23	23	15	17
	女性	21	20	22	21	23
	計	35	43	45	36	40
計	男性	70	96	100	86	67
	女性	101	99	103	108	110
	計	171	195	203	194	177

3-2 社会人向け教育プログラム数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
駒澤大学	自大学	9	10	8	8	1
	世田谷PF	—	—	—	0	0
昭和女子大学	自大学	4	5	6	4	8
	世田谷PF	—	—	—	0	0
成城大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
東京都市大学	自大学	2	1	1	19	2
	世田谷PF	—	—	—	0	0
東京農業大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
計	各大学	15	16	15	31	11
	世田谷PF	—	—	—	0	0

3-3 産業イベント開催・協力件数

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	2	2	2	2	0
駒澤大学	0	0	1	1	1
昭和女子大学	0	1	1	1	3
成城大学	0	1	1	3	1
東京都市大学	0	1	1	3	1
東京農業大学	0	0	0	0	0
計	2	5	6	10	6

3-4 創業機運醸成のためのイベント等開催数

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	—	—	—	0	0
駒澤大学	—	—	—	7	2
昭和女子大学	—	—	—	0	0
成城大学	—	—	—	0	0
東京都市大学	—	—	—	1	1
東京農業大学	—	—	—	0	0
計	—	—	—	8	3

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

4. 国際化 指標

4-1 国際イベント開催・協力件数

大学名	形態	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	自大学	2	2	2	2	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
駒澤大学	自大学	10	22	14	11	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
昭和女子大学	自大学	10	14	6	6	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
成城大学	自大学	1	1	1	0	0
	世田谷PF	—	—	—	4	0
東京都市大学	自大学	0	0	1	5	1
	世田谷PF	—	—	—	1	0
東京農業大学	自大学	6	3	4	4	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
計	各大学	29	42	28	28	1
	世田谷PF	—	—	—	5	0

5. 区内大学の連携 指標

5-1 共同FD・SD開催件数(自大学が会場校の件数を記入ください)

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	1	1	1	1	2
駒澤大学	0	0	0	2	2
昭和女子大学	0	0	0	0	0
成城大学	0	0	1	0	1
東京都市大学	0	0	1	1	1
東京農業大学	0	0	0	0	0
計	1	1	3	4	6

5-2 共同の単位互換科目数(自大学提供科目数を記入ください)

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	0	0	0	0	42
駒澤大学	194	182	187	198	182
昭和女子大学	5	1	1	1	3
成城大学	0	0	0	0	0
東京都市大学	68	69	60	64	64
東京農業大学	0	0	0	0	0
計	267	252	248	263	291

5-3 共同利用が可能な施設・設備登録数(自大学提供の施設・設備登録数を記入ください)

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	0	0	207	207	207
駒澤大学	1	1	223	223	223
昭和女子大学	1	1	3	3	3
成城大学	0	0	108	109	109
東京都市大学	0	1	68	94	94
東京農業大学	1	1	1	1	83
計	3	4	610	637	719

5-4 世田谷プラットフォーム参加校数

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
計	—	—	6	6	6

2020年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

5-5 共同学生募集活動件数

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	0	0	1	1	0
駒澤大学	0	3	4	3	3
昭和女子大学	0	1	1	1	1
成城大学	0	0	1	1	1
東京都市大学	0	3	2	2	1
東京農業大学	0	0	1	1	1
計	0	7	10	9	7

5-6 世田谷区「ボランティア事業」への学生ボランティア派遣件数

大学名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
国士舘大学	—	—	—	—	—
駒澤大学	—	—	—	—	—
昭和女子大学	—	—	—	—	—
成城大学	—	—	—	—	—
東京都市大学	—	—	—	—	—
東京農業大学	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—